



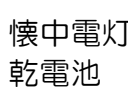











事前に非常持ち出し品を準備しておきましょう



日頃の準備が安全な避難につながります。普段から心がけましょう。

- ラジオ  □ 懐中電灯  □ 水  □ 着替え 
- 乾電池  □ 非常食  □ タオル 
- 常備薬  □ ビニール袋  □ ライター 
- マッチ  □ 救急セット  □ 携帯電話 
- 携帯充電器 

土砂災害のための 備えと避難の手引き

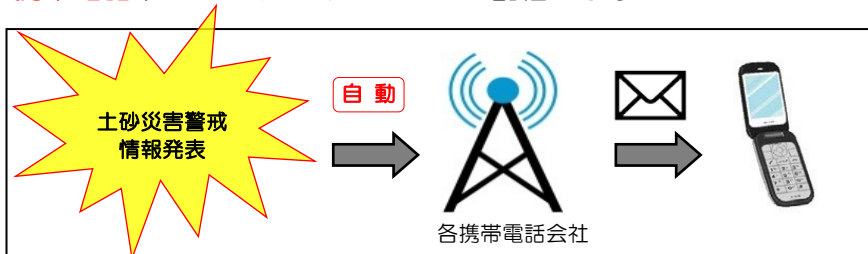


～ 被害を少なくするためにできること ～

■ 土砂災害発生の危険度情報をメールでお知らせします

・緊急速報メール（登録不要）

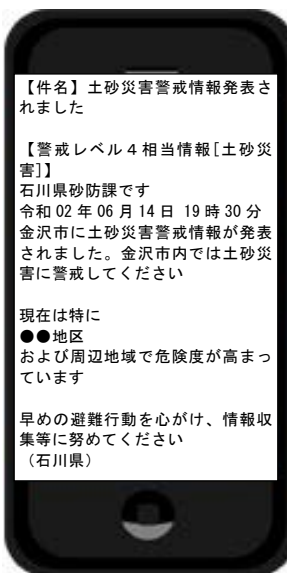
土砂災害警戒情報が発表された市町に滞在する方に対し、
携帯電話やスマートフォンにメール配信します



※一部未対応機種あり

緊急速報メールが配信されたら

- ・その後の気象情報等に注意しましょう
- ・早めの避難を心がけましょう



▲緊急速報メール配信画面

・登録型メール（登録無料） ※通信料は別途必要

地域の土砂災害への備えに役立つ情報をメールでお知らせします。
今後の危険度の高まりもお知らせしますので、早めの避難行動に役立ちます。

○右のQRコードを読み取り、空メールを送信してください。
○または、以下のメールアドレスに空メールを送信してください。
entry@mail.sabo.pref.ishikawa.jp



発行 石川県土木部砂防課
〒920-8580 石川県金沢市鞍月1丁目1番地(行政庁舎15階)
TEL 076-225-1751 FAX 076-225-1752
<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/sabou/index.html>

令和3年5月改訂



板ヶ谷川（金沢市）

1. 土砂災害ってなに？
2. 土石流
3. がけ崩れ
4. 地すべり
5. 安全に避難するために

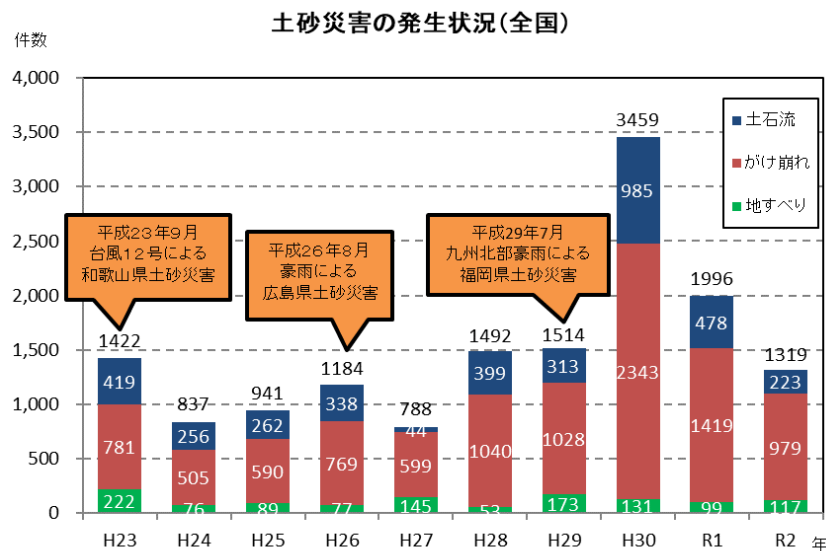
1

土砂災害ってなに？

土砂災害とは、大雨や地震、火山の噴火などが引き金となって、山やがけが崩れてたくさんの土や石、大きな岩などが建物を押しつぶしたり、水と混ざった土砂が建物を押し流したりして、私たちの命や財産を奪う自然災害です。

土砂災害には、「土石流」「がけ崩れ」「地すべり」があり、石川県内には土砂災害のおそれがある区域が 4,583 箇所あります。梅雨や台風シーズンなど雨の多い時期は、特に土砂災害が起こりやすくなります。

土砂災害は、雨や地震、地形や地質など多くのことが関係しているため、いつ、どこかの斜面が崩れてどのような被害が発生するのか予測することは困難です。

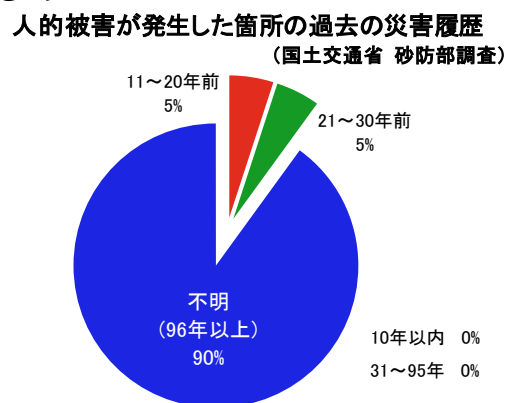


最近 10 年では、全国で毎年約 1,500 件の土砂災害が発生し、石川県でも約 15 件の土砂災害が発生しています。近年は局所的な集中豪雨が多く発生しており、土砂災害に対する十分な警戒と準備が必要です。

※平成 30 年は、西日本豪雨、北海道胆振東部地震により、9 月末までに 3,000 件を超える土砂災害が発生しています。

過去に土砂災害のないところでも土砂災害は起きるの？

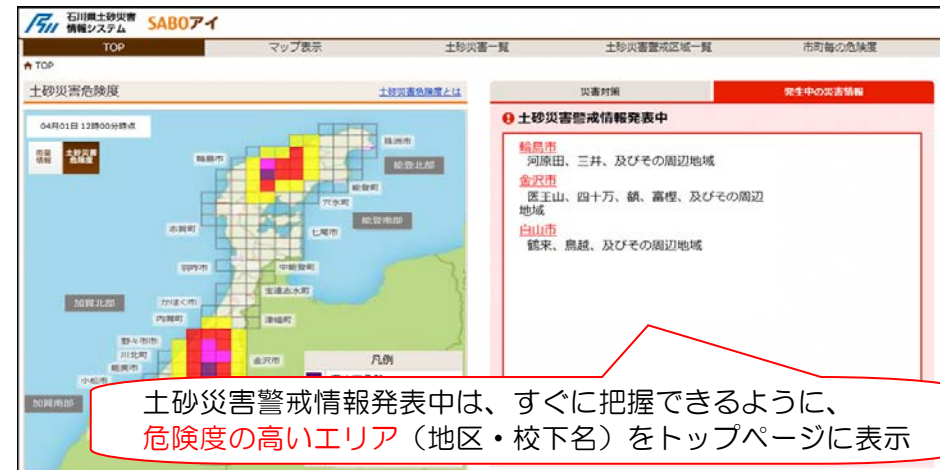
過去のデータでは、人的被害のあった箇所の 9 割が約 100 年以内に被災していない箇所で土砂災害が発生していることがわかります。100 年以内に災害がない地域であっても、土砂災害のおそれがある区域では、あらかじめ避難等の対策を講じておく必要があります。



「SABOアイ (石川県土砂災害情報システム)」



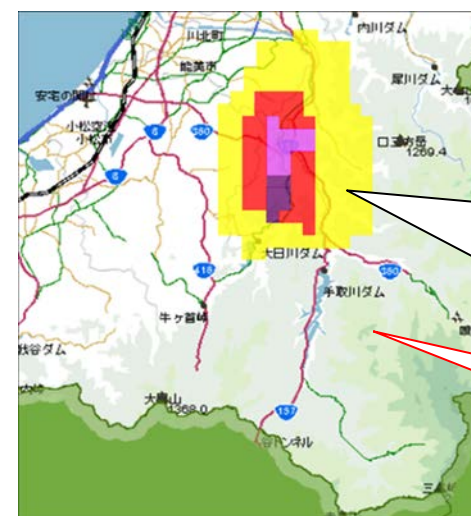
■ 迅速で分かりやすい土砂災害危険度を提供します



土砂災害警戒情報発表中は、すぐに把握できるように、危険度の高いエリア (地区・校下名) をトップページに表示

▲トップページ (土砂災害警戒情報発表時)

■ きめ細かな情報提供を行います



自分の地域がどの色になれば危険なの？		気象情報の目安
大 危険度 ↑ 小	極めて危険	土砂災害警戒情報基準到達 (実況)
	非常に危険	土砂災害警戒情報基準到達 (予想)
	警戒	大雨警戒基準到達 (実況または予想)
	注意	大雨注意報基準到達 (実況または予想)

避難にかかる時間を考慮し、2時間先までの土砂災害危険度を表示しています。(10分更新)

▲土砂災害危険度の表示

避難訓練に参加しましょう！

「**普段の備えがあなたの命を守ります！**」
▶避難場所と避難経路を実際に確認しましょう



※ 河川に関する情報 (水位・雨量等) は「石川県河川総合情報システム」
(<http://kasen.pref.ishikawa.lg.jp>)



5

安全に避難するために

「土砂災害ハザードマップ」で、土砂災害のおそれがある所や避難場所を確認し、避難経路を考えておく

(お住まいの市町名) 土砂災害ハザードマップ 等 **検索** 市役所・町役場でも入手できます!

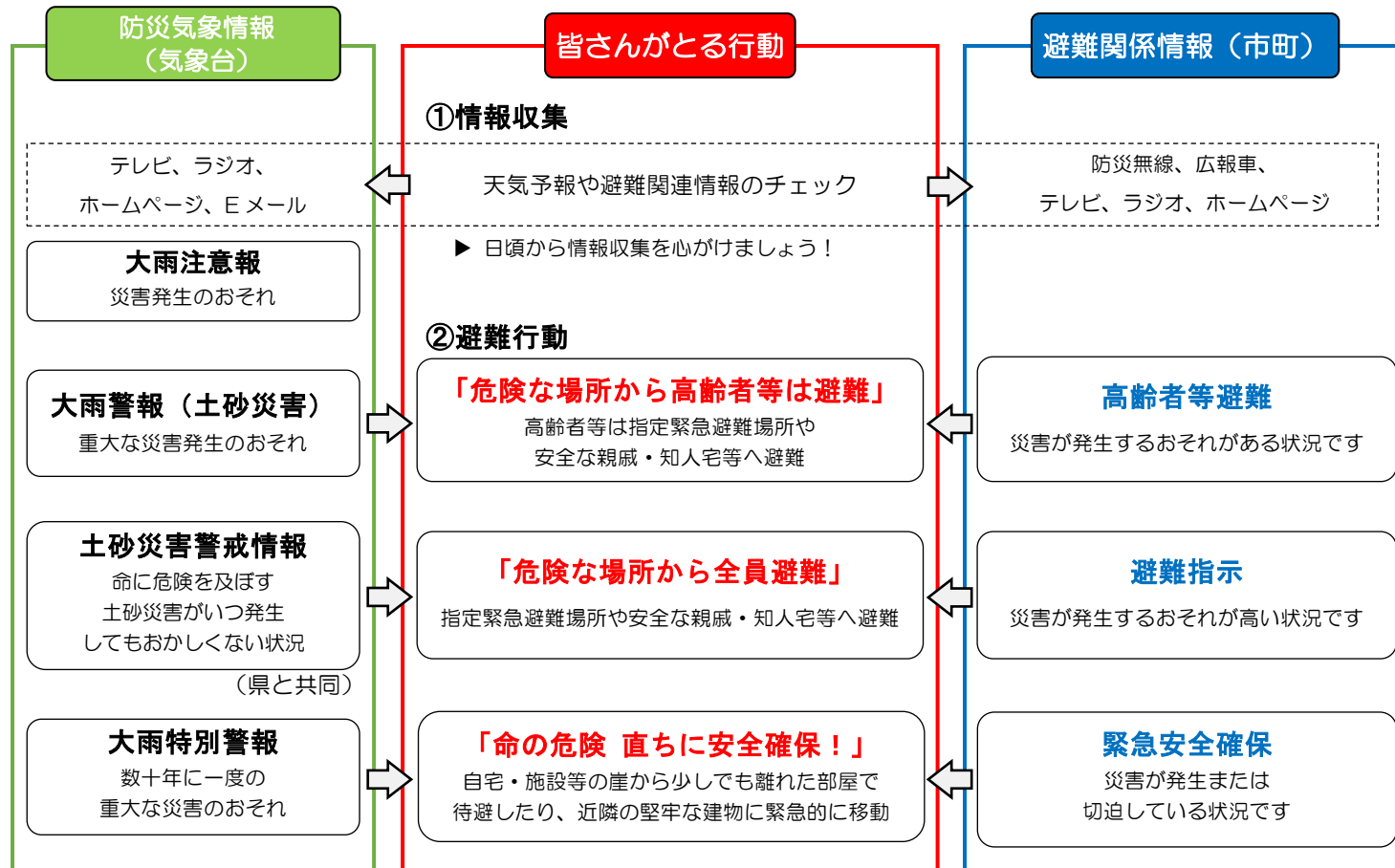


★土砂災害の危険のある市町では避難場所も盛り込んだ土砂災害ハザードマップが作成され市町ごとのホームページで公開されています。

通勤や通学の途中にも危険な場所があるかもしれません。学校や会社の近くも確認してみましょう。

▲土砂災害ハザードマップの例

どんな状況(情報)で避難するか確認する



とせきりゅう 土石流



笹尾 (羽咋市)

「土石流」とは、大雨などによって山や川の土砂や石が、水と一緒に谷を激しく流れ下る現象です。谷や沢の近くが危険です。

過去の大きな被災履歴

平成26年 8月17日 笹尾 (羽咋市)

平成20年 7月28日 板ヶ谷川 (金沢市)

くす がけ崩れ



腰細 (輪島市)

「がけ崩れ」とは、雨や雪どけ水、地震などによって、急な斜面が崩れ落ちる現象です。家の裏山などの急ながけが危険です。土砂災害の中でも、発生件数が最も多い災害です。

過去の大きな被災履歴

平成19年 3月25日 腰細 (輪島市(旧門前町))

平成 9年 7月 6日 下浜 (能登町(旧内浦町))

し 地すべり



小間生 (能登町)

「地すべり」とは、雨や雪どけ水が地下にしみ込んだ地下水によって、ゆっくりと斜面がすべる現象です。ゆるい斜面でも危険です。

過去の大きな被災履歴

平成29年10月23日 小間生 (能登町)

平成17年 4月 1日 福水 (羽咋市)

2

土石流

～ その危険性と対応 ～

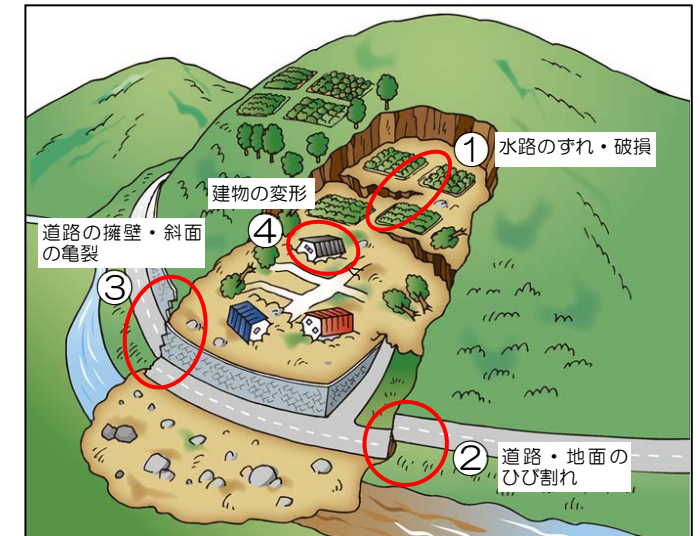
「土石流」とは、長雨や集中豪雨などによって、山の斜面や川底の土砂や石が、水と一緒に谷や溪流を一気に流れ下る現象です。そのスピードは時速20～40km と速く、一瞬のうちに人家や道路などを破壊し、人命も脅かします。石川県には土石流の警戒区域が2,115箇所あります。



被害を少なくするために皆さんができること

地すべりは、動きがゆっくりしているので、日頃から注意して見ていると大きな被害となる前にその前ぶれを発見することもできます。

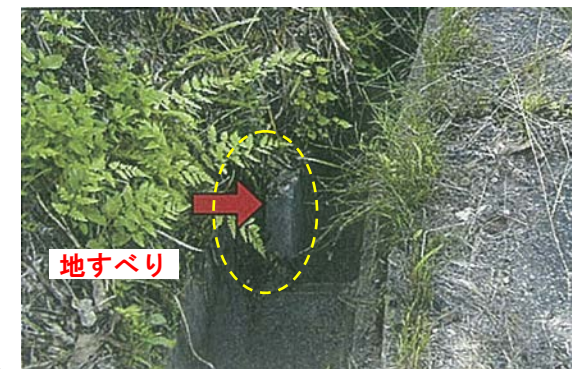
下のような現象を見つけたら、最寄りの市町役場や土木事務所等の関係機関にお知らせください



<地すべりが動き出した時に見られる現象の例>

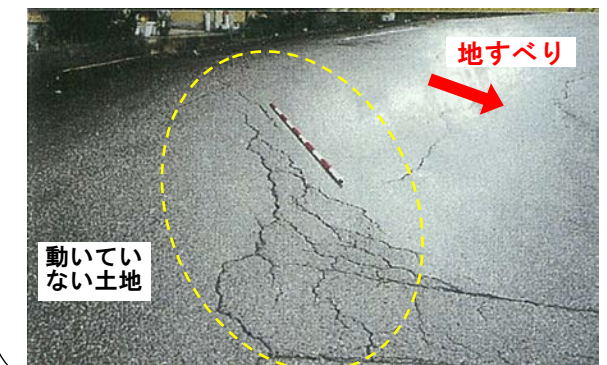
① 水路のずれ・破損

道路の側溝や田畑の水路のつなぎ目がずれたり破損したりします。



② 道路・地面のひび割れ

地すべりで動いているところと動いていないところの境界などで発生します。車で通って段差を感じるようなら要注意です。



③ 道路の擁壁・斜面の亀裂

②と同じように境界で発生します。また、擁壁が傾いてきたり、一部が膨らんできたりすることもあります。



④ 建物の変形

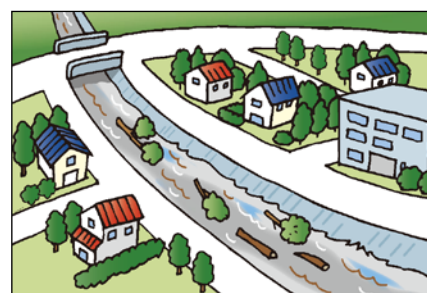
地すべりブロックの中にある建物では戸の締りが悪くなったり、建物や床等に傾きや、きしみが出てきます。



※上記は一般的な対応であり、現地の状況等によって異なる場合もあります。

土石流の前ぶれとは？

こんな現象に気がいたら、まわりの人に知らせて早めに避難しましょう。



川の水が急ににごったり、流木が混ざる。



雨が降っているのに、川の水位が下がる。



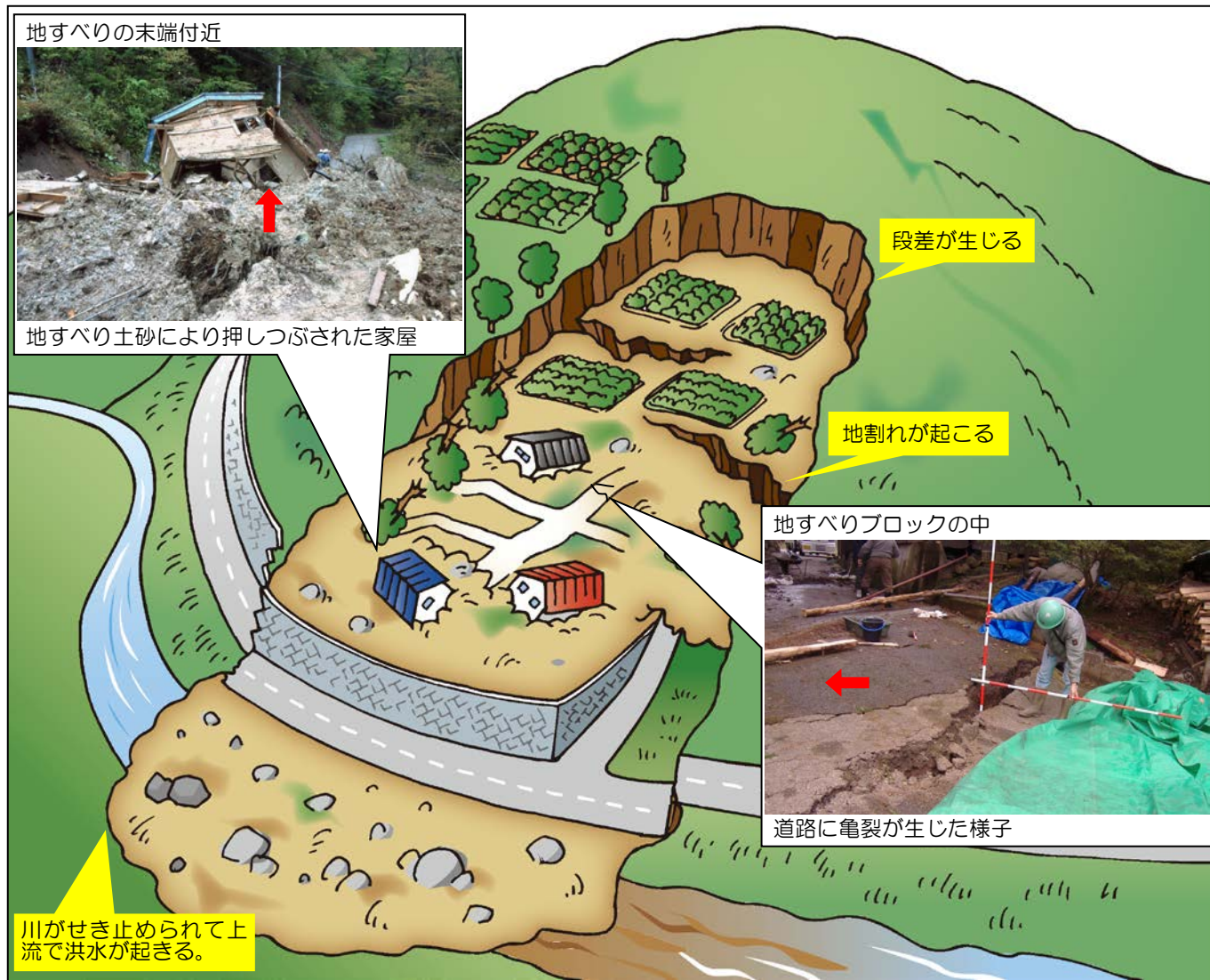
山鳴りや、立ち木の裂ける音が聞こえる。

4

地すべり

～ その危険性と対応 ～

「地すべり」とは、広い範囲の斜面が家や畑を乗せたまま動く現象です。その速度は一般的に年間数mm～数mと比較的ゆっくりですが、大量の土砂がひとかたまりとなって動くため、動き出すと大きな被害をもたらします。特に石川県には地すべりの起きやすい地質が能登地方を中心に広がっており、石川県には地すべりの警戒区域が557箇所あります。地すべりの大きな原因となるのは地下水であり、梅雨や台風シーズンのほか豪雪地域では融雪期（3月～5月）にも発生します。



地すべりの前ぶれとは？

こんな現象に気がいたら、まわりの人に知らせて早めに避難しましょう。



斜面から水が湧きだす。

(資料提供：NPO法人 土砂災害防止広報センター)



地面にひび割れができる。



山鳴りや、立ち木の裂ける音が聞こえる。

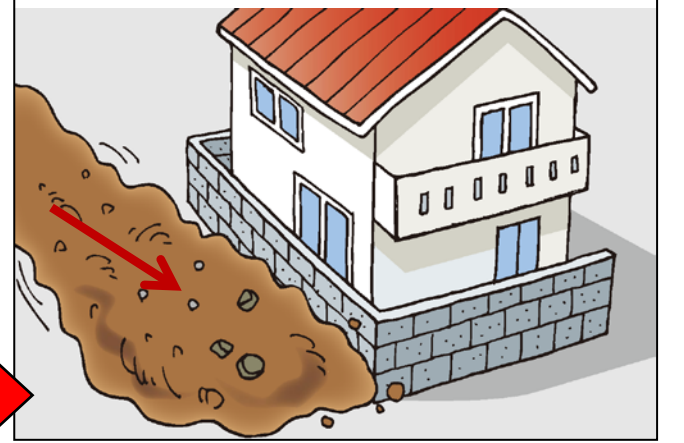
被害を少なくするために皆さんができること

①土砂流入方向に出入口や窓があると、建物内に土砂が侵入して大きな被害になることがあります。被害を軽減するためにフェンスやブロック塀などの設置も有効です。

土石流が家屋を直撃し、家屋内でも被害にあう危険があります。

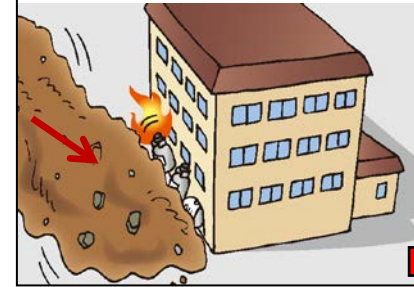


フェンスやブロック塀などにより、土砂が家屋内に侵入するのを防止・軽減します。

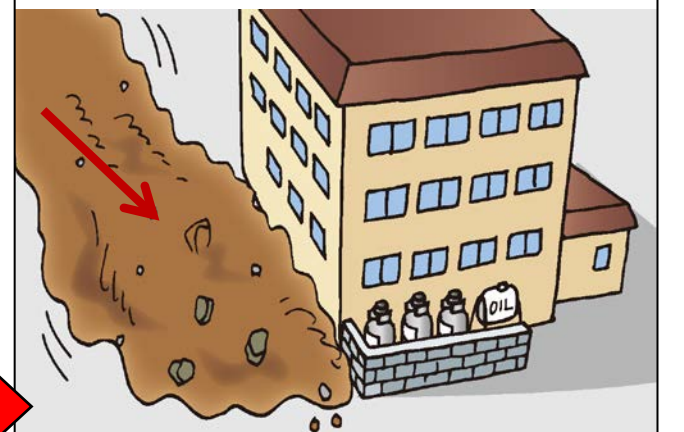


②土砂流入方向にオイルタンクやガスボンベがある場合は、移設または防護対策を行いましょう。

ガスボンベ等が破損し、ガス、油漏れによる火災の危険があります。

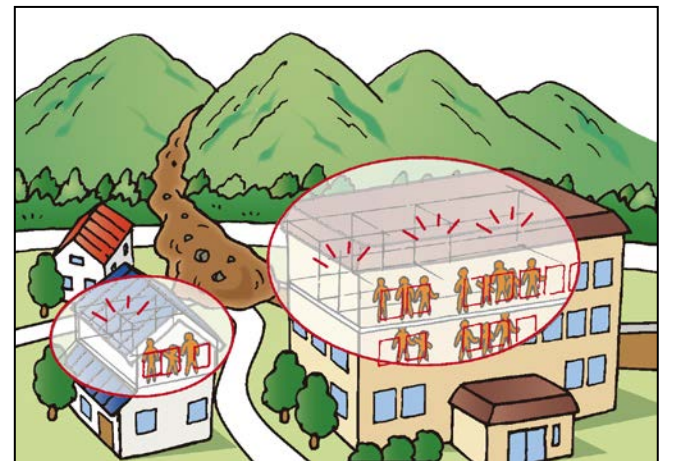


ガスボンベ等を土石流の流入側には置かないようにしましょう。防護壁を取り付けるとより被害を防ぐことができます。

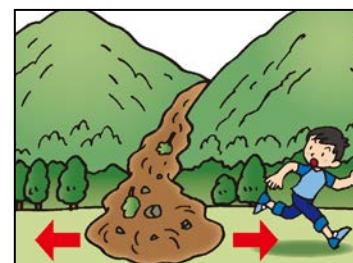


③大雨などで外に逃げるのが危険な場合は、建物内避難も有効です。その際は、土石流が流れてくる方向の部屋は危険なため、その反対側のなるべく上階に避難しましょう。

また、建物外に避難するときも、土石流の流れてくる方向と反対側の出入口を使って避難しましょう。



④土石流はスピードがとても速いので、流れてくる向きに対して、直角方向に逃げましょう。



※上記は一般的な対応であり、現地の状況等によって異なる場合があります。

3

がけ崩れ

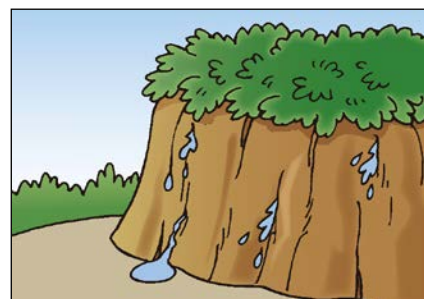
～ その危険性と対応 ～

「がけ崩れ」とは、雨や地震によって地盤が緩み、急な斜面が崩れ落ちる現象です。斜面の高さの2倍程度離れた所まで土砂が届くこともあり、突発的に起きるため逃げ遅れる人も多く、発生件数の一番多い災害となっています。石川県にはがけ崩れの警戒区域が1,911箇所あります。

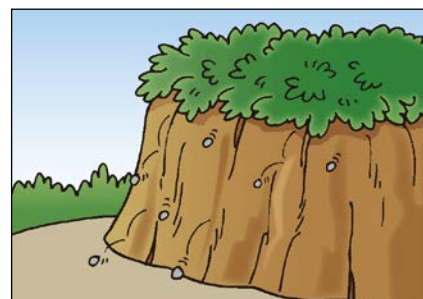


がけ崩れの前ぶれとは？

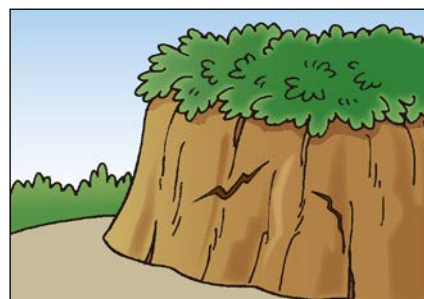
こんな現象に気がいたら、まわりの人に知らせて早めに避難しましょう。



がけから水が湧き出す。



がけから小石がパラパラと落ちてくる。



がけや斜面に割れ目ができる。

被害を少なくするために皆さんができること

①家屋ががけに近い場合

土砂は、斜面の高い所から崩れてくることもあります。2階より上のがけ側の窓にも雨戸等をつけることも有効です。

土砂が家屋を押しつぶし、出入口や窓から土砂が侵入します。



がけ側の窓や戸を強化することで被害を軽減できます



②家屋ががけから少し離れている場合

土砂流入方向に出入口や窓がある場合、フェンスやブロック塀などの設置も有効です。

土砂が出入口や窓から侵入します。



フェンスやブロック塀などの設置により、土砂の侵入を軽減できます。



③大雨などで外に逃げるのが危険な場合

建物内避難も有効です。その際は、がけと反対側となるべく上階に避難しましょう。

がけ崩れは、雨がやんだ後に発生することもあるので、数時間は注意が必要です。

また、建物外に避難するときも、土砂の崩れてくる方向と反対側の出入口を使って避難しましょう。



④がけ崩れは、一瞬のうちに起こるので、早めの避難が必要です。外へ避難する時は、がけからなるべく遠くへ避難しましょう。



※上記は一般的な対応であり、現地の状況等によって異なる場合もあります。